

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公開番号】特開2016-25911(P2016-25911A)

【公開日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-010

【出願番号】特願2015-173395(P2015-173395)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 4 D
A 6 3 F	7/02	3 1 6 B
A 6 3 F	7/02	3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月26日(2016.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者によって特定操作が行われる特定操作手段と、

始動口への遊技球の受け入れに基づいて乱数を取得する乱数取得手段と、

前記乱数取得手段により取得される乱数に基づいて、大当たり判定処理を行う大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段による大当たり判定処理の結果が大当たりであることにに基づいて、遊技者に特典が付与される大当たり遊技を行う大当たり遊技実行手段と、

前記乱数取得手段により乱数が取得された場合、該取得された乱数に応じた前記大当たり判定手段による大当たり判定処理をその実行条件が成立するまで待機させて保留状態にする遊技保留手段と、

前記大当たり判定処理にかかる実行条件が成立してその保留状態が解除された場合、図柄変動にかかる制御を行う変動表示制御手段と、

前記遊技保留手段により保留状態とされる大当たり判定処理についての大当たり期待度をその実行条件が成立するよりも前に示す特定態様を出現させる特定先行演出についての演出判定を行う先行演出判定手段と、

前記先行演出判定手段による演出判定にて第1の判定結果が得られた場合、特操画像表示を出現させる特操画像表示手段と、

前記特操画像表示手段による特操画像表示が出現しているなかで前記特定操作手段に対する前記特定操作を受け付けた場合、前記特定先行演出の実行にかかる制御を行いうる第1の先行演出制御手段と、

前記先行演出判定手段による演出判定にて第2の判定結果が得られた場合、前記特定操作手段に対する前記特定操作を受け付けることなく、所定の演出タイミングで前記特定先行演出の実行にかかる制御を行いうる第2の先行演出制御手段と

を備え、

前記特操画像表示手段は、

前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理よりも消化順序が先とされる大当たり判定処理が複数存在している場合、前記特操画像表示を、該複数存在している大当

たり判定処理に応じた複数回の図柄変動で、前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理がいずれであるかを特定して表示させうる制御を実行可能な複数変動特定操作表示手段

を有しており、

前記第1の先行演出制御手段は、

前記特操画像表示が表示される前記複数回の図柄変動が未だ消化し終わっていない期間内にあるにもかかわらず、前記特定操作手段に対して前記特定操作が行われたとしてもこれを受け付けないようにする制御を実行可能な非受付制御手段を有しており、

前記複数変動特定操作表示手段は、

前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理よりも消化順序が先とされる大当たり判定処理に応じた図柄変動が全て消化された後、前記特操画像表示が非表示にされる制御を実行可能であり、

さらに、

前記第1の先行演出制御手段による制御によって前記特定先行演出が行われるときと、前記第2の先行演出制御手段による制御によって前記特定先行演出が行われるときとで、前記特定態様としていずれも特別の態様が現れうる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者によって特定操作が行われる特定操作手段と、

始動口への遊技球の受け入れに基づいて乱数を取得する乱数取得手段と、

前記乱数取得手段により取得される乱数に基づいて、大当たり判定処理を行う大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段による大当たり判定処理の結果が大当たりであることにに基づいて、遊技者に特典が付与される大当たり遊技を行う大当たり遊技実行手段と、

前記乱数取得手段により乱数が取得された場合、該取得された乱数に応じた前記大当たり判定手段による大当たり判定処理をその実行条件が成立するまで待機させて保留状態にする遊技保留手段と、

前記大当たり判定処理にかかる実行条件が成立してその保留状態が解除された場合、図柄変動にかかる制御を行う変動表示制御手段と、

前記遊技保留手段により保留状態とされる大当たり判定処理についての大当たり期待度をその実行条件が成立するよりも前に示す特定態様を出現させる特定先行演出についての演出判定を行う先行演出判定手段と、

前記先行演出判定手段による演出判定にて第1の判定結果が得られた場合、特操画像表示を出現させうる特操画像表示手段と、

前記特操画像表示手段による特操画像表示が出現しているなかで前記特定操作手段に対する前記特定操作を受け付けた場合、前記特定先行演出の実行にかかる制御を行いうる第1の先行演出制御手段と、

前記先行演出判定手段による演出判定にて第2の判定結果が得られた場合、前記特定操作手段に対する前記特定操作を受け付けることなく、所定の演出タイミングで前記特定先行演出の実行にかかる制御を行いうる第2の先行演出制御手段と、

を備え、

前記特操画像表示手段は、

前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理よりも消化順序が先とされる大当たり判定処理が複数存在している場合、前記特操画像表示を、該複数存在している大当たり判定処理に応じた複数回の図柄変動で、前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理がいずれであるかを秘匿にして表示させうる制御を実行可能な複数変動秘匿操作表示手段

を有しており、

前記第1の先行演出制御手段は、

前記特操画像表示が表示される前記複数回の図柄変動が未だ消化し終わっていない期間

内にあるにもかかわらず、前記特定操作手段に対して前記特定操作が行われたとしてもこれを受け付けないようとする制御を実行可能な非受付制御手段を有しており、

前記複数変動秘匿操促表示手段は、

前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理よりも消化順序が先とされる大当たり判定処理に応じた図柄変動が全て消化された後、前記特操画像表示が非表示にされる制御を実行可能であり、

さらに、

前記第1の先行演出制御手段による制御によって前記特定先行演出が行われるときと、前記第2の先行演出制御手段による制御によって前記特定先行演出が行われるときとで、前記特定態様としていずれも特別の態様が現れる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または2に記載の遊技機において、

所定の発光演出が行われるランプ装置をさらに備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかしながら、従来のパチンコ機では、遊技に対する興味が低下するおそれがあった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、遊技に対する興味の低下を抑制することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：遊技者によって特定操作が行われる特定操作手段と、

始動口への遊技球の受け入れに基づいて乱数を取得する乱数取得手段と、

前記乱数取得手段により取得される乱数に基づいて、大当たり判定処理を行う大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段による大当たり判定処理の結果が大当たりであることにに基づいて、遊技者に特典が付与される大当たり遊技を行う大当たり遊技実行手段と、

前記乱数取得手段により乱数が取得された場合、該取得された乱数に応じた前記大当たり判定手段による大当たり判定処理をその実行条件が成立するまで待機させて保留状態にする遊技保留手段と、

前記大当たり判定処理にかかる実行条件が成立してその保留状態が解除された場合、図柄変動にかかる制御を行う変動表示制御手段と、

前記遊技保留手段により保留状態とされる大当たり判定処理についての大当たり期待度をその実行条件が成立するよりも前に示す特定態様を出現させる特定先行演出についての演出判定を行う先行演出判定手段と、

前記先行演出判定手段による演出判定にて第1の判定結果が得られた場合、特操画像表

示を出現させうる特操画像表示手段と、

前記特操画像表示手段による特操画像表示が出現しているなかで前記特定操作手段に対する前記特定操作を受け付けた場合、前記特定先行演出の実行にかかる制御を行いうる第1の先行演出制御手段と、

前記先行演出判定手段による演出判定にて第2の判定結果が得られた場合、前記特定操作手段に対する前記特定操作を受け付けることなく、所定の演出タイミングで前記特定先行演出の実行にかかる制御を行いうる第2の先行演出制御手段と

を備え、

前記特操画像表示手段は、

前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理よりも消化順序が先とされる大当たり判定処理が複数存在している場合、前記特操画像表示を、該複数存在している大当たり判定処理に応じた複数回の図柄変動で、前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理がいずれであるかを特定して表示させうる制御を実行可能な複数変動特定操促表示手段

を有しており、

前記第1の先行演出制御手段は、

前記特操画像表示が表示される前記複数回の図柄変動が未だ消化し終わっていない期間内にあるにもかかわらず、前記特定操作手段に対して前記特定操作が行われたとしてもこれを受け付けないようにする制御を実行可能な非受付制御手段を有しており、

前記複数変動特定操促表示手段は、

前記特定先行演出の対象とされる前記大当たり判定処理よりも消化順序が先とされる大当たり判定処理に応じた図柄変動が全て消化された後、前記特操画像表示が非表示にされる制御を実行可能であり、

さらに、

前記第1の先行演出制御手段による制御によって前記特定先行演出が行われるときと、前記第2の先行演出制御手段による制御によって前記特定先行演出が行われるときとで、前記特定態様としていずれも特別の態様が現れうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

本発明に係る遊技機によれば、遊技に対する興趣の低下を抑制することができる。